

和歌山県公共工事入札監視委員会第57回定例会議 議事概要

開催日及び場所	平成27年11月20日(金) 13:30~14:30 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	山西陽裕(委員長) 遠藤桂介(副委員長) 坂田初美 津村雅枝 堀田祐三子 三岩敬孝	
審議対象期間	平成27年7月1日～平成27年9月30日	
抽出案件	総件数 2件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の設定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1件	
条件付き 一般競争入札	2件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】 ○国道370号（仮称1号トンネル）道路改良工事</p> <p>1. A委員 低入札調査について簡単に説明してほしい。</p> <p>2. B委員 入札経過書で、失格ではない業者で総合評価の加算点が入っていないものがあるがどうしてか。</p>	<p>（発注機関：道路建設課）</p> <p>1. 予定価格（税抜き）1億円未満の工事は、最低制限価格を設定し、その額を下回れば自動的に失格となる。予定価格（税抜き）1億円以上の工事は、調査基準価格を設定し、その額を下回った場合、その入札価格で適正な工事の施工が可能かどうかの調査を行い、可能と判断されれば契約となる。可能でないと判断されれば、失格となり、次順位のところに同じような調査を行う。</p> <p>2. 予定価格以上の入札額で応札があった場合、総合評価の審査は行わないことになっており、加算していない。</p>
<p>【条件付き一般競争入札】 ○広川ダム堰堤改良合併工事</p> <p>1. C委員 1回目の入札が不成立、2回目に1者応札で成立しているが、何か事情があるのか。</p> <p>2. A委員 施工出来る業者は全国にどの程度あるのか。</p>	<p>（発注機関：有田振興局建設部）</p> <p>1. 今回のホロージェットバルブはかなり特殊な構造であり、全国にダムが約2700あるが、その中でホロージェットバルブを取り入れているダムが約120、その内φ2000mmという大きな経のダムは5ダムしかない。造られたのが古いということもあるが、この型式を採用しているダムがかなり少なく、特殊な技術が必要であることからと思われる。</p> <p>2. 今回こういうダムのバルブの施工実績を調べると全国で20者あった。</p>

<p>3. A委員 何年か経つとまた補修しないといけないのか。</p> <p>4. D委員 1回目の開札日が7月15日で、7月21日に同じ条件で2回目公告しているが。</p> <p>5. C委員 このダム以降も和歌山県でダムを造っていると思うが、この型式を採用しているのか。</p>	<p>3. そういうことになる。</p> <p>4. 1回目から条件を緩和しており、専門性が必要な工事で更に条件を緩和することは難しいことから同じ条件で公告した。</p> <p>5. 二川ダムを造っているが、この型式ではなくクレストゲートというゲートで排出する型式になっている。</p>
<p>【意見交換会】 下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1. 公共工事動向について2. 平成28・29年度県内入札参加資格（建設工事）審査項目等の改正について3. 一部専門工事における入札参加資格要件の緩和について4. 資本関係等のある複数の者の同一入札への参加制限について	